

2026 年度第 1 学期 開講ゼミ シラバス (田仲ゼミ)

科目名 近代小説を読む	サブタイトル 『暗夜行路』について考える
	担当教員 田仲 洋己 専門分野 日本文学

● 授業の到達目標及びテーマ

過去 4 年間のゼミでは、『新古今和歌集』『源氏物語』といった古典文学を取り上げて来ましたが、最終年度の今年は、近代の文学作品について考えてみたいと思います。第 1 学期は、志賀直哉の『暗夜行路』を取り上げます。志賀の唯一の長編小説として著名ですが、様々な問題を孕んだ奥深い作品です。私にとっては専門外の時代・作品ではありますが、皆様とともに自由に討議して行くゼミのスタイルで、様々な角度から作品の内実世界を読み解いてみたいと考えています。

● 科目概要

これまでの古典文学のゼミと同様、発表担当者による報告を踏まえて参加者全員で意見を交換、討議するというスタイルで、授業を進めます。初回の授業では、ゼミの狙いと今後の進行について御説明した上で、各回の発表担当者を決定します。第 2 回目以降の授業では、担当者の報告を踏まえて自由に討議します。

● 授業計画

	開講日時	各回の講義内容
第 1 回	4 月 24 日 (金) 13:30~15:00	今回のゼミの狙いと進行予定、発表順の決定
第 2 回	5 月 29 日 (金) 13:30~15:00	担当者の報告とそれを踏まえての討議
第 3 回	6 月 26 日 (金) 13:30~15:00	担当者の報告とそれを踏まえての討議
第 4 回	7 月 31 日 (金) 13:30~15:00	担当者の報告とそれを踏まえての討議
第 5 回	8 月 28 日 (金) 13:30~15:00	担当者の報告とそれを踏まえての討議

テキスト

◆ 『暗夜行路』の共通のテキストとして新潮文庫を利用しますので、事前に必ず入手して、ゼミ当日に御持参ください。なお、新潮文庫版『暗夜行路』は平成 19 年 8 月発行の第 36 刷で改版されていますので、それ以前の版ではページ建てが異なります。新規に入手される場合には、なるべく第 36 刷以降のものを購入してください。各回の発表資料については、担当者の方が作成されたファイルを事前に提出していただき、それを印刷して参加者の皆様に配付致します。

参考書・参考資料等

◆ 志賀直哉や『暗夜行路』に関する研究書・研究論文は多数ありますので、適宜御参照ください。ただ、今回のゼミでは、従来の研究史にはあまりこだわらずに、自由な視点から作品世界の在り方を分析することに重点を置きたいと考えています。

田仲ゼミ生募集 (教員メッセージ)

◆ 担当教員の本来の専門は『新古今和歌集』を中心とする中世前期の和歌文学研究で、近現代文学については素人同然ではありますが、文学テキストを読み解く面白さに関しては、古典と近現代作品との間に差異があるわけではありません。皆様と一緒に自由な読書会形式で、『暗夜行路』の諸問題について考える時間を持ちたいと思います。奮って御参加ください。

2026 年度第 1 学期 開講ゼミ シラバス (加来田ゼミ)

科目名 セルフメディケーションを学ぶ2026 (1)	サブタイトル 栄養学の基本としくみを理解する
	担当教員 加来田博貴 専門分野 医薬化学

● 授業の到達目標及びテーマ

これまでのゼミでは、薬の理解を目指した学びを行ってきました。本年度は、人体の仕組みと働きの基礎を理解し、健康維持に必要な栄養素や、栄養と病気との関係について学びます。栄養素の基本的な性質とはたらきを理解し、それらが健康、美容、加齢、疾病予防にどのように関与しているかを説明できるようになることを目指します。あわせて、栄養学の知識を日常生活や自身の健康管理に活かす視点を養うことをテーマとします。

● 科目概要

本ゼミは、テキスト『よくわかる 栄養学の基本としくみ』を用い、栄養学を初めて学ぶ受講者を対象に基礎から学ぶゼミ形式の授業です。栄養学の基本概念、消化・吸収の仕組み、各栄養素の役割について段階的に理解を深めます。講義に加えてディスカッションを取り入れ、栄養と健康、生活習慣との関係を具体的に考察し、ゼミ生が各自それぞれの実生活に応用できる力を養います。

● 授業計画

	開講日時	各回の講義内容
第 1 回	4 月 19 日 (日) 13:00~14:30	オリエンテーションと栄養学とは何か ゼミの進め方と目的説明 「栄養とはなんだろう？」を理解する (テキスト 1 章中心 (栄養学の全体像))
第 2 回	5 月 10 日 (日) 13:00~14:30	消化器のしくみと栄養の入口 (テキスト 2 章中心 (消化器の仕組み))
第 3 回	6 月 14 日 (日) 13:00~14:30	三大栄養素の理解① 糖質 (テキスト 3 章から) ・糖の分類、エネルギー源としてはたらき ・血糖値と体調・健康との関係
第 4 回	7 月 12 日 (日) 13:00~14:30	三大栄養素の理解② タンパク質 (アミノ酸) (テキスト 3 章から) ・アミノ酸の個別役割 ・筋肉・皮膚・ホルモンへの影響
第 5 回	8 月 9 日 (日) 13:00~14:30	三大栄養素の理解③ 脂質 (テキスト 3 章から) ・脂の種類と重要性 ・脂質と生活習慣病・美容 (皮膚/ホルモン)

テキスト

◆図解入門 よくわかる栄養学の基本としくみ [第 2 版] (単行本) ISBN : 9784798069968
<https://www.shuwasytem.co.jp/book/9784798069968.html>

参考書・参考資料等

◆登録販売者 テキスト & 問題集 (石川達也著) 改訂 3 版 ISBN : 9784046072252
◆薬のしくみとはたらき事典 (丸山 敬 著) ISBN : 9784816367564
◆絵でわかる薬のしくみ (船山 信次 著) ISBN : 9784065179871

◆加来田ゼミ生募集 (教員メッセージ)

参加者の皆さんがとてもやる気に満ち、楽しい時間を共有できました。進め方は、テキストを詳細に読むよりも、重要なポイントを押さえつつ、分かりにくい部分を解説していくスタイルです。途中で質問があれば気軽にどうぞ。ゼミ生が自由に意見を出し合える場を重視したいので、進行はゆっくりとしたもの・内容も変化したものになるかもしれません。繰り返し学習したい方も歓迎です。

2026 年度第 1 学期 開講ゼミ シラバス (劔持ゼミ)

科目名 V. ウルフ『ダロウェイ夫人』を読む	サブタイトル
	担当教員 劔持 淑 専門分野 英語・英文学

● 授業の到達目標及びテーマ

1925 年に発表されたヴァージニア・ウルフの小説『ダロウェイ夫人』を読み、意識の流れの手法で描かれた作品が両大戦間期の時代をどのように写し取り、作家が時代と人間の生と死をどのように捉えていたのかを学ぶ。

● 科目概要

Virginia Woolf (1882-1941) の小説『ダロウェイ夫人』(*Mrs Dalloway*) は第一次世界大戦後の 1924 年に書き上げられ、1925 年に出版された。意識の流れの手法により描かれる、ロンドンの自宅で夜会を開くクラリッサ・ダロウェイの一日と、先の大戦に従軍し、友人の戦死によるトラウマに苦しむセプティマス・ウォレン・スミスの死が、どのようにつながっていくのかを考察する。登場人物の意識の中で物語が描かれ、視覚的、聴覚的なきっかけで場面が転換してゆく様子を読み解く試みであり、両大戦間期のイギリスの時代の思潮について考える。

● 授業計画

	開講日時	各回の講義内容
第 1 回	4 月 30 日 (木) 13:30~15:00	作家、ヴァージニア・ウルフの人生と作品について 『ダロウェイ夫人』 <i>Mrs Dalloway</i> を読み始める。~15 頁
第 2 回	5 月 21 日 (木) 13:30~15:00	<i>Mrs Dalloway</i> の続きを読む。~41 頁 クラリッサ・ダロウェイとピーター・ウォルシュ
第 3 回	6 月 25 日 (木) 13:30~15:00	<i>Mrs Dalloway</i> の続きを読む。~80 頁 ピーター・ウォルシュ、セプティマスとルクレチアのスミス夫妻
第 4 回	8 月 6 日 (木) 13:30~15:00	<i>Mrs Dalloway</i> の続きを読む。~128 頁 ミス・キルマン、ピーター・ウォルシュ、セプティマスの死
第 5 回	9 月 10 日 (木) 13:30~15:00	<i>Mrs Dalloway</i> の続きを読む。~165 頁。パーティーの最中、クラリッサはブラッドショー夫妻から青年の自殺の話を聞く 発表と意見交換

テキスト

◆ Virginia Woolf (Oxford World's Classics) (ペーパーバック)

(Penguin Modern Classics 版など、他の版でも結構ですので、各自で入手しておいてください。)

参考書・参考資料等

◆ 授業の中で紹介する。

◆劔持ゼミ生募集 (教員メッセージ)

本ゼミでは、*Mrs Dalloway* を読みます。作家が時代と生と死をどのように捉えていたかについて、意見交換しながら検討します。学生の主体性を尊重しつつ、助言する立場で指導にあたります。

2026 年度第 1 学期 開講ゼミ シラバス (齋藤ゼミ)

科目名 からだを整えるホルモン入門	サブタイトル
	担当教員 齋藤 昇 専門分野 動物生理学

● 授業の到達目標及びテーマ

ホルモン（内分泌）は、体内の情報伝達に重要な役割を果たしており、体の恒常性（ホメオスタシス）の維持をしています。基本的なホルモンについての知識が少しでも身につけばと思います。

● 科目概要

ホルモンという言葉はみなさんご存知だと思いますが、多くの臓器で数多くのホルモンが作られ分泌されており、具体的にはどのようなことをしているのか分かり難いかと思います。ホルモンが私たちの健康維持にどのような役割を果たしているのかを一緒に勉強したいと思います。

● 授業計画

	開講日時	各回の講義内容
第 1 回	4 月 8 日 (水) 13:30~15:00	ホルモンとは何か？
第 2 回	6 月 17 日 (水) 13:30~15:00	代謝とホルモン
第 3 回	7 月 29 日 (水) 13:30~15:00	性差とライフステージとホルモン
第 4 回	8 月 19 日 (水) 13:30~15:00	ストレスとホルモン
第 5 回	9 月 16 日 (水) 13:30~15:00	睡眠・リズムとホルモン
テキスト ◆ プリントを配布します。		
参考書・参考資料等 伊藤裕 なんでもホルモン (2015) 朝日新聞出版 ISBN978-4-02-273607-9 780 円+税		
◆齋藤ゼミ生募集 (教員メッセージ) ホルモン（内分泌）には、多種多様な生理作用があり、私たちの身体の調節に働いていますが、本ゼミで、ホルモン（内分泌）の基本的なことがわかって貰えればと思います。		

2026 年度第 1 学期 開講ゼミ シラバス (堀内ゼミ)

科目名 記憶の認知心理学	サブタイトル
	担当教員 堀内 孝 専門分野 社会心理学、認知心理学

● 授業の到達目標及びテーマ

記憶に関する認知心理学の研究知見について、実験実習を通して経験的に学ぶ。

● 科目概要

1, 2 学期を通して、記憶の認知心理学の講義と実習を行う。

● 授業計画

	開講日時	各回の講義内容
第 1 回	4 月 10 日 (金) 15:00~16:30	情報処理パラダイム
第 2 回	5 月 8 日 (金) 15:00~16:30	感覚記憶と知覚 1
第 3 回	6 月 12 日 (金) 15:00~16:30	感覚記憶と知覚 2
第 4 回	7 月 10 日 (金) 15:00~16:30	意味記憶
第 5 回	9 月 11 日 (金) 15:00~16:30	エピソード記憶
テキスト ◆毎回資料を配布します		
参考書・参考資料等 ◆なし		
◆堀内ゼミ生募集 (教員メッセージ) 心理学の概説や概論を履修していない人は、自分で勉強しておいてください。		

2026 年度第 1 学期 開講ゼミ シラバス (宮崎ゼミ)

科目名 日本語文法を学び直す	サブタイトル
	担当教員 宮崎 和人 専門分野 日本語学

● 授業の到達目標及びテーマ

多くの人にとって日本語の文法とは中学・高校の国語の授業で学んだ学校文法でしょう。それは古典を読むのに役立つ文法でした。では、大学生や社会人の教養として知っておくべき日本語の文法とはどのようなものなのでしょうか。それは、言語学という世界共通語によって記述され、英語等の外国語とも接続可能なものなのでしょう。このゼミではそうした観点から日本語の文法について具体的に考えながら、その仕組みをできるだけ深い部分で理解できるようにします。

● 科目概要

現代日本語の文法を教養として解説します。まず、これまでに学んだことのある学校文法を振り返り、その特徴を確認しながら、何が足りないかを考えていきます。次に、それを補うべく、単語や文、品詞や文の成分といった学校文法にも出てくる単位や概念について再考します。さらに、学校文法では助動詞の項目で扱われてきた、受動、時制、否定、モダリティー等に関する内容を言語学の考え方（文法的カテゴリー）によって展開します。

● 授業計画

	開講日時	各回の講義内容
第 1 回	5 月 26 日 (火) 13:30~15:00	文法とは何か～学校文法を振り返る
第 2 回	6 月 23 日 (火) 13:30~15:00	単語と文、品詞と文の成分について
第 3 回	7 月 28 日 (火) 13:30~15:00	受動文について
第 4 回	8 月 25 日 (火) 13:30~15:00	時間の表現について～テンスとアスペクト
第 5 回	9 月 15 日 (火) 13:30~15:00	否定・モダリティーについて

テキスト

◆特に指定せず、プリントを配布します。

参考書・参考資料等

- ◆高橋太郎他著『日本語の文法』、ひつじ書房、2005 年、ISBN978-4894762442
- ◆日本語記述文法研究会編『現代日本語文法 1』、くろしお出版、2010 年、ISBN978-4874244753
- ◆日本語文法学会編『日本語文法事典』、大修館書店、2014 年、ISBN978-4469012866

◆宮崎ゼミ生募集 (教員メッセージ)

文法についてはいろいろな考え方がありますが、人間は文を作る生き物であり、文を作るとは「出来事」(リアルなものだけでなく、想像やフィクション、嘘さえも含みます)を作ることだと私は考えます(認知言語学的な立場です)。つまり、文法とは人間が言語によって「出来事」を作る仕組みです。その仕組みを解明すべく、文法によって作られる「出来事」にはどのような種類や特徴があるのか、また、そもそも人間は何のために「出来事」を作り、作った「出来事」をどのように使うのか、ということに関心があります。みなさんの関心に合わせて内容を調整しますので、気軽に参加してください。関心があれば、予備知識は必要ありません。

2026 年度第 1 学期 開講ゼミ シラバス (吉田ゼミ)

科目名 野菜の来歴と栽培	サブタイトル 夏野菜の品種生態と形態の多様性
	担当教員 吉田 裕一 専門分野 野菜園芸学

● 授業の到達目標及びテーマ

野菜に限らず作物は野生植物から選抜されて成立した。自然の環境変化に適応して次の世代を残してきた野菜たちの生態について想像しながら、来歴と成長過程について考えてみましょう。

● 科目概要

5 回のうち 3 回は農学部フィールド科学センターの野菜圃場と半田山植物園を歩いて見学し、いろいろな季節の野菜などについてのフリートークを行います。今シーズンはそのほかに、アスパラガスとトウガラシに関する来歴などについて話題提供します。

● 授業計画

	開講日時	各回の講義内容
第 1 回	4 月 23 日 (木) 13:30~15:30	半田山植物園見学 (入場料 310 円が必要です。満年齢 65 歳以上全額免除 (入園時、年齢の証明書が必要です)) 13:30 岡山学習センター玄関前集合
第 2 回	5 月 26 日 (火) 14:00~15:30	ジャガイモの来歴、品種と栽培
第 3 回	6 月 23 日 (火) 14:00~15:30	農学部フィールド科学センターの見学 14:00 岡山学習センター玄関前集合
第 4 回	7 月 28 日 (火) 14:00~15:30	ナス・キュウリの品種分化と栽培
第 5 回	8 月 25 日 (火) 14:00~15:30	農学部フィールド科学センターの見学 14:00 岡山学習センター玄関前集合
テキスト ◆ 適宜配布します。		
参考書・参考資料等 ◆野菜園芸学の基礎、篠原 温編著、農文協、ISBN978-540-11205-8 (4,000 円+税) ◆図説園芸学 (第 2 版)、荻原 勲編著、朝倉書店、ISBN978-254-41040-2 (3,600 円+税)		
◆吉田ゼミ生募集 (教員メッセージ) フィールド科学センター圃場の見学を交え、野菜の成長を見ながら知識を深めてもらいたいと思います。		

2026 年度第 1 学期 開講ゼミ シラバス (清水ゼミ)

科目名 子どもの発達における親子関係の役割	サブタイトル 発達心理学
	担当教員 清水 光弘 専門分野 発達心理学

● 授業の到達目標及びテーマ

第 2 学期に、発達に関する臨床的問題である「小児期逆境体験 ACEs (虐待, 家庭内暴力, 家庭内の薬物濫用など)」を論ずる予定です。18 歳までに生起する ACEs は、成人期における心身の健康, 社会経済的地位 (学歴, 職業, 収入), そして, 人間関係に悪影響を及ぼします。

ACEs が有害である理由を理解する前提として, 子どもが健やかに発達するためには, どのような条件が揃っていないかならなければならぬのかを知っている必要があります。今学期では, 重要な条件のひとつであり, ACEs と強く関連する親子関係を学習します。

● 科目概要

子どもは自分を取り巻く環境と相互作用することによって発達します。乳幼児にとってもっとも大きな影響力をもつ環境は親 (養育) です。児童期以降には, 親子関係に加えて仲間関係が重要な要因となります。この授業では, 児童期以降の発達の土台となる乳幼児と親の関係を中心に取り上げます。

授業では, 教科書的な説明に加えて, 研究論文を詳しく紹介することによってこの問題の理解を深めることを目指します。ACEs に関連する論文も紹介する予定です。

● 授業計画

	開講日時	各回の講義内容
第 1 回	4 月 23 日 (木) 13 : 30-15 : 00	社会化, 養育態度
第 2 回	5 月 28 日 (木) 13 : 30-15 : 00	社会認知論
第 3 回	6 月 25 日 (木) 13 : 30-15 : 00	テクノフェランス technoference
第 4 回	8 月 20 日 (木) 13 : 30-15 : 00	アタッチメント理論 1
第 5 回	9 月 17 日 (木) 13 : 30-15 : 00	アタッチメント理論 2
テキスト 各回, 講義資料を配付します。		
参考書・参考資料等 指定する文献などはありません。 関心をお持ちの方には次の書籍を紹介します : 長谷川真理他編著 (2024). 社会性の発達心理学 ナカニシヤ出版 ISMN978-4-7795-1791-4		
◆清水ゼミ生募集 (教員メッセージ) 発達精神病理学の「人間発達に関するプロセスモデル」では, 発達を乳幼児期から児童期を経て青年期に至るつながりで捉えます。青年期が一応の仕上がりです。このモデルから乳幼児期を見るとその重要性を再確認できます。ACEs 研究は成人期における様々な心身の不調と発達早期の否定的な出来事を結び付けました。乳幼児の発達に関心のある方だけでなく, 成人の臨床的問題に関心のある方にも出席いただけるとうれしいです。		

2026 年度第 1 学期 開講ゼミ シラバス (様式)

科目名 漢方薬の使い分けを知る	サブタイトル
	担当教員 谷口 抄子 専門分野 生薬漢方薬学・薬用植物学

● 授業の到達目標及びテーマ

漢方の独特の診断基準について概要を学びます。各論としては疾患ごとに処方を使い分けについて知ることを目標として代表的な処方を学びます。

● 科目概要

西洋医学と漢方医学の違いや漢方の基本となる概念を説明します。疾患ごとに処方を使い分けについて、中心となる生薬により分類した処方群ごとの処方の学習を横軸に、漢方の概念（縦軸）を理解できるように進めていきます。

● 授業計画

	開講日時	各回の講義内容
第 1 回	4 月 16 日 (木) 14:00~15:30	漢方の特徴、基本概念
第 2 回	5 月 21 日 (木) 14:00~15:30	漢方の診断法
第 3 回	6 月 18 日 (木) 14:00~15:30	呼吸器系疾患での処方を使い分け (1)
第 4 回	8 月 20 日 (木) 14:00~15:30	呼吸器系疾患での処方を使い分け (2)
第 5 回	9 月 17 日 (木) 14:00~15:30	消化器系疾患での処方を使い分け

テキスト

◆腹証図解漢方常用処方解説 (三考塾叢刊) 改訂版、東洋学術出版社、高山 宏世 (編著)、¥1,980
ISBN : 9784904224588 各自で用意してください

参考書・参考資料等

◆生薬の働きから読み解く 図解 漢方処方のトリセツ 第 2 版、じほう、川添和義 (著)、¥4,400
ISBN : 9784840753777

◆谷口ゼミ生募集 (教員メッセージ)

西洋医学とは異なる概念をもつ漢方医学ですが、その考え方をすることで、自分の体調を西洋医学とは違った視点で眺めることができるようになると思います。実際に利用される処方について、配合されている生薬の働きや作用の違いなどを含めて学習します。漢方について一緒に学び、体調管理に役立てましょう。

2026 年度第 1 学期 特別ゼミ シラバス (稲垣ゼミ)

科目名 「楽しく学ぼう 微生物の科学」	サブタイトル 暮らしを支える微生物
	担当教員 稲垣賢二 専門分野 農芸化学

● 授業の到達目標及びテーマ

私たちは微生物の力を借りて発酵食品や発酵調味料、お酒や抗生物質を製造してきました。食品分野、医薬分野以外でも、衣料、エネルギー生産、下水処理、微生物洗練など幅広い分野で微生物が活躍していて、現代社会は微生物を利用せずには成り立ちません。一方で食品を腐らせたり、病気の原因になる微生物もいます。微生物の素顔と能力について学び、微生物の特徴を理解できるようになる事を目標とします。

● 科目概要

人類は微生物の存在に気がつく前からワイン、ビール、チーズや、ヨーグルトを作ってきました。微生物には、古来人類が利用してきた乳酸菌や酢酸菌、放線菌など細菌や近年発見されたアーキアなどの原核微生物と、酒やパン作りの主役酵母や、麹カビ、青カビ、微細藻類などの真核微生物があります。これら微生物の能力や性質を詳しく学びます。講義で学ぶとともに、参加者一人一人がテーマを決め、自主的に調べ、発表することで理解を深めます。

● 授業計画

	開講日時	各回の講義内容
第 1 回	4 月 22 日 (水) 14:00~15:30	概要紹介と役割分担の決定
第 2 回	5 月 27 日 (水) 14:00~15:30	微生物の素顔と能力 1 原核微生物 1 乳酸菌, 酢酸菌, 放線菌
第 3 回	6 月 24 日 (水) 14:00~15:30	微生物の素顔と能力 2 原核微生物 2 ラン藻, アーキア, (ウイルス)
第 4 回	8 月 26 日 (水) 14:00~15:30	微生物の素顔と能力 3 真核微生物 1 糸状菌(麹カビ, 青カビ)
第 5 回	9 月 30 日 (水) 14:00~15:30	微生物の素顔と能力 4 真核微生物 2 キノコ, 酵母, 藻類

テキスト

◆ 「おもしろサイエンス 微生物の科学」

日刊工業新聞社 ISBN978-4-526-07108-9 1600 円+税

参考書・参考資料等

◆ 「応用微生物学 改訂版」 培風館 ISBN978-4-563-07707-5 3100 円+税

◆稲垣ゼミ生募集 (教員メッセージ)

身近にいる暮らしに役立つ微生物を中心に、病気や腐敗に関わる微生物についても学びます。これまで5年間「お酒」「発酵食品」「応用微生物学」「ビタミン」などについて学んできましたが、今年は原点に立ち返り、微生物や微生物を利用した様々な発酵にまつわる科学の話を一緒に楽しく学びたいと思います。今学期もできるだけ体験学習を行いたいと思います。